

## ドイツ語文学文化専攻新入生のみなさんへ

みなさん、ご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

みなさんにお目にかかれるまで、まだしばらく待たねばなりません。みなさんと学びを共にするこれからの時間を、楽しみにしています。

少なからぬ制約がある中ではありますが、みなさんの大学生活はすでにスタートしています。それぞれに可能な方法で、みなさんが選択した「ドイツ語文学文化」という分野の学びの場に、足を踏み入れてみてください。例えば、ドイツ語文学文化専攻のウェブサイトには、専攻の教員が推薦する図書の一覧が掲載されています。興味をひかれた本を、1冊でも2冊でも手に取って、読んでみてください。

[https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/letters/major/german/tech\\_tidings/advice/#link\\_08](https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/letters/major/german/tech_tidings/advice/#link_08)

同じページには、ドイツ語文学文化研究に関連する基本的なウェブサイトのリストも載っています。関心のある分野やテーマについて、リサーチしてみたいかがですか。また、manaba (<http://www2.chuo-u.ac.jp/com/manaba/>) にログインし、右側下方のアイコン「朝日新聞 DIGITAL 今日の朝刊」をクリックすれば、朝日新聞を無料で読むことができます。ドイツ語圏関連の記事に注目しましょう。

今後、manaba や C-Plus を通じて、大学や学部・専攻からの重要な情報がみなさんに送られます。確実に受け取れるように、各自 manaba や C-Plus の利用方法を確認してください。

以下では、中央大学と文学部が提供している様々な可能性や、ドイツ語文学文化専攻における4年間の学修、そして大学生の心得について述べています。よく読んで、今後の大学生活についてのイメージを膨らませ、計画を練ってください。

それでは、みなさんにお会いできる日を、心待ちにしています。

ドイツ語文学文化専攻教員一同

## 大学が提供する機会をつかもう！ ～早めの計画と準備を～

これからの大学生活、みなさんには様々な可能性が開かれています。中央大学と文学部は、資格取得や長期・短期留学の機会、留学や学外での調査活動を支援する奨学金など、色々な可能性を提供しています。しかし、いずれも、かなり早い段階からの準備や手続きが必要です。大学が提供する可能性を逃さないよう、早め早めに計画を立ててください。

\*今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、以下の制度の実施形態が、例年とは異なる可能性があります。各自、関連ウェブサイトなどで情報収集に努めてください。

### 1. ドイツ語文学文化専攻の履修以外の付加的なプログラムや資格取得

#### ファカルティールンケージ・プログラム (FLP)

「環境・社会・ガバナンス」「ジャーナリズム」「国際協力」「スポーツ・健康科学」「地域・公共マネジメント」の5領域について、学部横断的な学修ができるプログラムです。総合ガイダンスは、1年次前期の6月下旬に予定されています。

ファカルティールンケージ・プログラム (FLP) 「受講までの流れ」

<https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/gp/flp/introduction/flow/>

#### 教職課程

ドイツ語文学文化専攻の学生の中には、ドイツ語または英語の教員免許状の取得を目指す方がいます。免許取得に向けて、1年次に履修しなければならない科目があります。新規履修ガイダンスは、1年次の6月に予定されていますが、その前からしっかり情報収集して、履修計画を組んでください。

「教職課程の流れ」

[https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/teachingcourse/program\\_flow/letters\\_program\\_flow/](https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/teachingcourse/program_flow/letters_program_flow/)

### 2. 海外への留学や学外での調査

#### 短期留学 (チュービンゲン)

8月に南ドイツのチュービンゲンで、1か月間の語学講習に参加できます。参加者の多くは、2～3年次生です。参加者は出発前の学期に留学準備のための授業を受講します。参加者の募集と選考は、学期が始まる前の夏休みに行われます。

「短期留学」

[https://www.chuo-u.ac.jp/international/outbound/short\\_term/](https://www.chuo-u.ac.jp/international/outbound/short_term/)

## 長期留学

ドイツの協定校に、1年間（もしくは半年間）交換留学できます。3年次の秋学期から留学する場合、2年次12月上旬に留学願書を提出して、選考が始まります。この留学願書を作成する前の段階で、クラス担任か自分の関心分野に近い教員に相談することを強く勧めます。時期的には、2年次の秋もしくは夏前から、相談を始める必要があるでしょう。交換留学の派遣候補者選抜の口述試験では、ドイツ語での応答も求められます。1年次秋に留学説明会がありますので、そこでしっかりと話を聞いておいてください。

「交換留学・認定留学」

[https://www.chuo-u.ac.jp/international/outbound/excha\\_appro/](https://www.chuo-u.ac.jp/international/outbound/excha_appro/)

## 文学部学外活動応援奨学金

学生が学外で行う調査活動の支援を目的として、文学部が提供する奨学金です。例えば、卒業論文のため、あるいは他に自分が関心を持つトピックについて、ドイツで現地調査をしたいという場合に、申請できます。調査には、2～3年次の夏休みを利用する学生が多いようです。通常、当該年度の4月下旬に募集要項の配布が始まり、5月に選考が行われます。文学部学外活動応援奨学金の場合も、エントリー・シートを作成する際には、自分のテーマに近い領域の教員に相談しながら計画を立てる必要があります。

「文学部の奨学金制度」

[https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/letters/fees\\_schol/scholarship/](https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/letters/fees_schol/scholarship/)

## 卒業論文を視野に ～ドイツ語文学文化専攻での4年間の学修～

大学生活の集大成は、4年次に提出する卒業論文・卒業研究です。みなさんはそれぞれ、所属するゼミの教員の指導のもと、論文を執筆します。ゼミに所属するのは、3年次からです。2年次の11月下旬頃に説明会があり、所属を希望するゼミの申請と選考が行われます。大きく分けて、言語学、文学・文化学、美術史、現代史・現代社会の4分野のゼミがあります。2年次の12月までに、自分が興味関心を持つ分野を見極めることが重要です。

## 大学の授業の座標軸

大学における専門分野の区分は、高校での教科の区分とは異なります。まずは、学問の専門分野がどのように分けられているのかを理解するところから始めてください。座標軸となるのは、「方法」と「対象地域」です。

ドイツ語文学文化専攻では、言語を分析する方法（言語学：林明子教授）、文学や演劇や映画を分析する方法（演劇学・文学：高橋慎也教授、文化学・文学：縄田雄二教授、文学：羽根礼華准教授）、絵画や建築を分析する方法（美術史：Hans=Joachim Dethlefs教授）、過

去の政治や社会を分析する方法（歴史学：磯部裕幸准教授）を学ぶことができます。これらの方法を学ぶ専攻の全ての科目に共通するのは、対象地域がドイツ語圏だということです。

### 「方法」と「対象地域」を意識して学ぶ

みなさんは「ドイツ語」という新しい外国語を学ばなくてはなりません。1年次は必修科目が多いため、時間割については、あまり融通がきかないことでしょう。しかし、2年次以降に向けて、「方法」と「対象地域」を意識して学ぶということを、覚えておいてください。

対象地域としてのドイツ語圏については、ドイツ語文学文化専攻の提供する科目で学ぶことができます。方法については、ドイツ語文学文化専攻で言語学、文学・文化学、美術史、歴史学それぞれの作法を学べますが、他の専攻が提供する科目の中にも、地域は異なっても方法論を共有するものがあります。例えば、言語学や文学に関心がある方は、国文学専攻、英語文学文化専攻、フランス語文学文化専攻、中国言語文化専攻などの言語学系科目や文学系科目を履修することによって、学びを深めることができます。歴史学に関心がある方は、西洋史学専攻（ドイツ史を専門とする先生もいらっしゃいます）の授業も、ぜひ履修してください。

みなさんの時間割は、各自の関心に応じて、一人ひとり違ったものになるはずです。しっかりと考え、自分にとって意味のあるオーダーメイドの時間割を組んでください。

### 専攻の名刺代わり ～ウェブサイトの案内～

ドイツ語文学文化専攻は、ウェブサイトに学生の留学・大学生活の体験談や、教員からの学習アドバイスを載せています。様々な催しのお知らせなども、随時掲載されますので、時々覗いてみてください。

専攻ウェブサイトの主な内容については、同封の別紙資料に記載されています。

### At last, but not least ～大学生の心得～

大学生活の中で、常に心に留めておいていただきたいことが2点あります。

大学の教員は、「これから言うことは大事だからメモしておきなさい」とは言いません。大事なことを黒板に板書し、わざわざ時間をとって、「さあ写しなさい」とも言いません。大事な話があるぞと思ったら、筆記用具を出して、自主的にメモを取りましょう。

大学の教員は、話をしたら、最後に必ず、質問があるか尋ねます。就職活動の面接でも、同じことが起きます。質問があるかと聞かれて、質問をしないということは、「今の話に、この会社に、自分は関心がない」と言ったも同然です。全ての講義、全てのゼミ、全ての講演会で、「ここについてもっと聞きたい」というところを常に探しながら話を聞く習慣をつけてください。そして、質問があるかを尋ねられたら、手を挙げる勇気を持ってください。